



ソルビファイ SolvifAIのご紹介

【上流工程特化 AIエージェント】

ソフトウェア・ハードウェア 成果物生成 AI

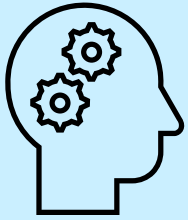
開発・改修・更改 プロジェクト管理 AI



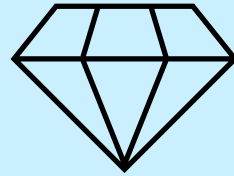
目次

1. サービス概要
2. 導入事例
3. ご利用について
4. 会社概要

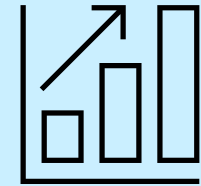
1.【ご利用効果】 SolvifAIは主に3つの効果をもたらします



要件定義書作成等
品質標準化・負荷軽減



考慮漏れによる
追加開発費の抑制



PJ目標達成に伴う
期待IT効果の創出

1.【ご利用効果】 役職者様毎に見ても、様々なメリットを享受いただけます

担当者



業務品質標準化

手引き通り自動で資料作成
30～50%以上の業務を削減

マネージャー



プロジェクト成果最大化

管理業務が減り戦略的な判断
やチームビルディングに注力

経営者



IT/DX戦略実現

従業員エンゲージメント及び
顧客満足度向上の正の循環

1.【サービス概要】 2つのAIエージェントのご利用をプロフェッショナルが支援

成果物生成AI(後述)



プロジェクト管理AI



オンボーディング支援

AIがソフトウェア・ハードウェアの要件定義書等のPJ成果物を自動作成、編集、品質レビュー

AIが開発・改修・更改プロジェクト計画策定や課題の対策提案、タスクフォローアップ

AIエンジニアや元コンサルタントが初期AIカスタマイズ、導入研修




McKinsey & Company

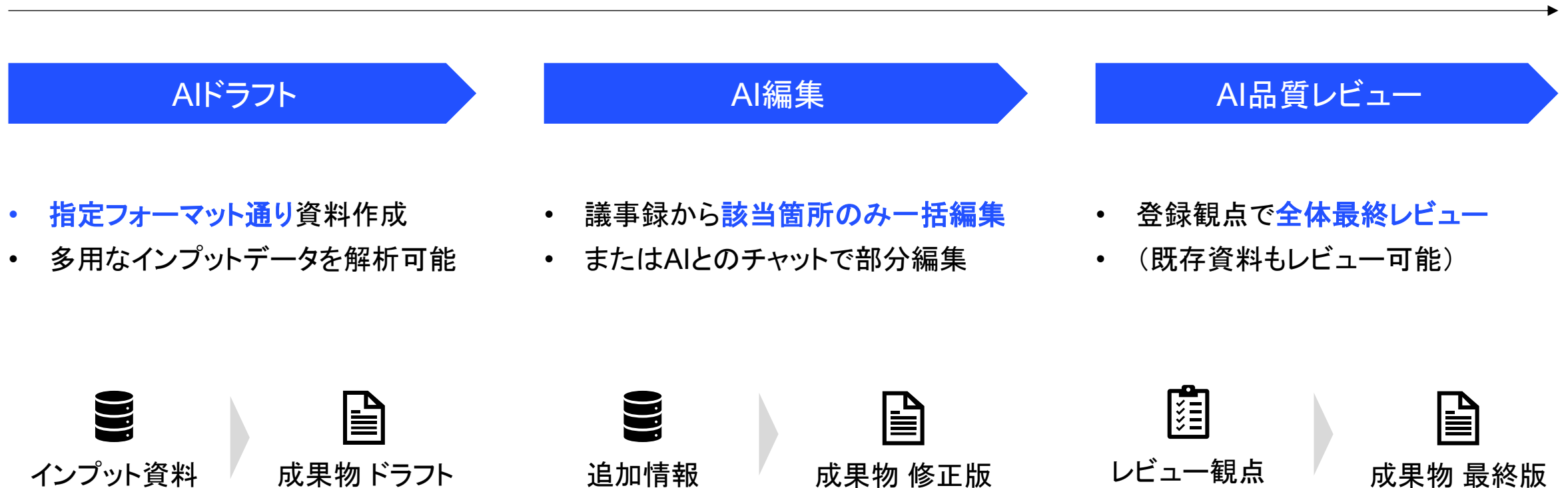
NRI

EY

ABeam Consulting®

1.【成果物生成AI】 要求仕様書等の成果物の最終化までの自動化

 成果物生成AIで自動化



1.【自動化成果物】
開発・改修・リプレース案件
の各成果物を自動生成
(その他資料も自動化可)



企画書



プロジェクト計画書



RFI/RFP



要求仕様書



製品規格書



基本設計書



テストケース



試験報告書



レビュー結果表

1.【優位性全体像】 End-to-endで自動化支援する一連機能に優位性



SolvifAI

特許出願済



目次毎に出力形式を設定可。
誰でも同品質で資料生成



Input対象に制限はなく
図や画像も詳細に解析



業務フロー図、画面UI、
システム相関図など出力



Input引用とAI創作切分け
ハルシネーション回避



実業務に必要な機能を網羅
(論点出し、共同編集、
レビュー、Ver管理など)

4 汎用AI*



プロンプトを要し属人化を招く



資料解析量に制限



Mermaidで一部図のみ



不可



資料化を前提としておらず制約

*: 弊社リサーチによる分析

①【出力形式設定】 企業固有ルールやテンプレートでの資料自動作成を実現

資料の **目次** を自由に設定

目次毎の **出力形式・記述ルール** も調整可能

目次

- 第1章 はじめに
 - 1. プロジェクトの背景
 - 2. プロジェクトの目的
- 第2章 業務要求・要件
 - 1. 業務要求一覧
 - 2. AsIs 業務一覧
 - 3. ToBe 業務一覧
 - 4. 業務要件一覧
 - 5. AsIs 業務フロー
 - 6. ToBe 業務フロー案
 - 7. 機能要求一覧
 - 8. 管理すべき指標
- 第3章 業務運用条件
 - 1. 利用者数
 - 2. 処理件数
 - 3. 時期・時間
 - 4. 実施場所
 - 5. 諸設備
- 第4章 非機能要求
 - 1. 性能
 - 2. 操作性
 - 3. 可用性
 - 4. 情報セキュリティ
 - 5. 業務継続性

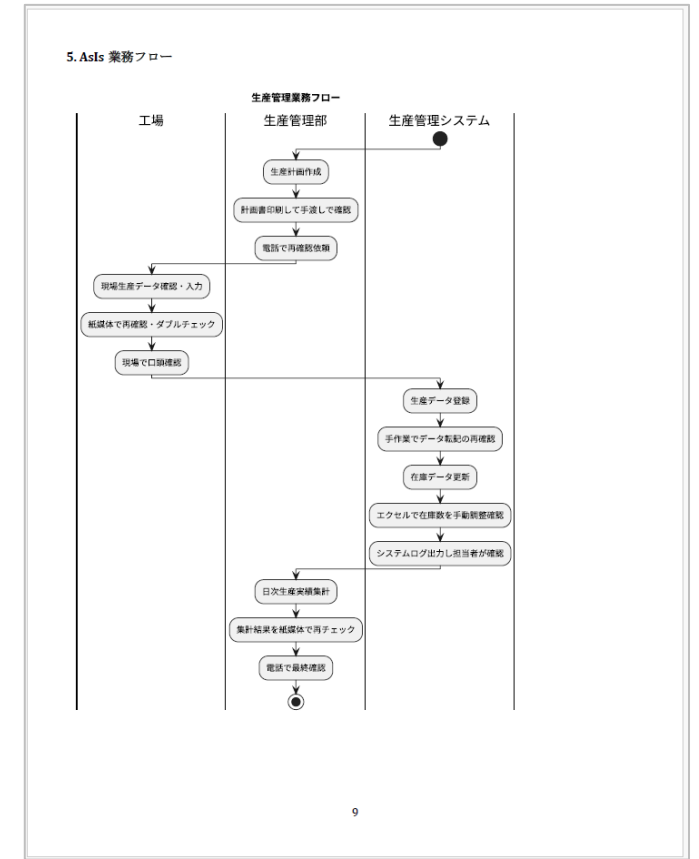
2

第2章 業務要求・要件

1. 業務要求一覧

No	業務要求概要	詳細	背景
1	生産・在庫データの統合管理	各拠点・工場で管理している生産実績・在庫情報を共通フォーマットで収集し、日次自動更新を実現する	現在は工場・国ごとに Excel や独自システムを利用しており、粒度・更新頻度が不統一で経営判断に時間を要している
2	物流・輸送ステータスのリアルタイム可視化	外部物流会社の輸送情報（積載・出発・到着）を API 経由で取得し、輸送ステータスを地図上またはダッシュボードで表示する	納期遵守や輸送遅延対応が後手に回る課題があり、リアルタイム把握による早期是正が求められている
3	販売・受注情報のグローバル連携	各地域 CRM・販売管理システムの受注情報を共通基盤に集約し、販売実績・受注残を一覧表示する	地域ごとに異なる CRM を利用しており、全社的な販売状況の可視化ができていない
4	経営管理ダッシュボードの構築	経営層向けに主要 KPI（受注・在庫・納期・CO ₂ 排出など）を統合表示するダッシュボードを構築する	現行の報告は月次手動集計に依存しており、即時性・正確性が不足している
5	在庫適正化・需給分析の自動化	在庫データ・販売実績・生産計画を連携させ、在庫過多・欠品リスクを自動分析し、アラートを通知する	ローカル管理に依存しており、在庫最適化の判断が属人化している
6	ESG 対応データ連携（環境指標算出）	SCM データから輸送・生産に伴う CO ₂ 排出量を自動算出し、ESG 報告システムへ連携する	ESG 報告作業が手動集計で工数負担が大きく、データ信頼性にも課題がある
7	マスタデータ管理の標準化	商品・拠点・輸送経路などのマスタ情報をグローバル共通コードで管理し、データ連携時の不整合を防止する	国別・部門別に異なるコード体系を使用しており、データ統合時の重複や欠損が発生している
8	アラート・通知機能の標準化	在庫異常、輸送遅延、受注変動などのイベントを自動検知し、関係部門へメール/システム通知を行う	異常の検知・共有が手動かつ属人的で、初動対応が遅れる傾向がある
9	レポート自動生成・多言語対応	各拠点・部門向けに、定例レポート（生産・輸送・販売・ESG）を自動生成し、日本語/英語で出力可能とする	手動集計・翻訳対応に時間を要しており、報告作業の生産性が低い
10	ユーザー権限とアクセス管理の強化	本社・拠点・外部委託先それぞれの役割に応じてアクセス権限を設定し、操作ログを管理する	グローバル展開に伴い、情報セキュリティ・監査要件が強化されている

4

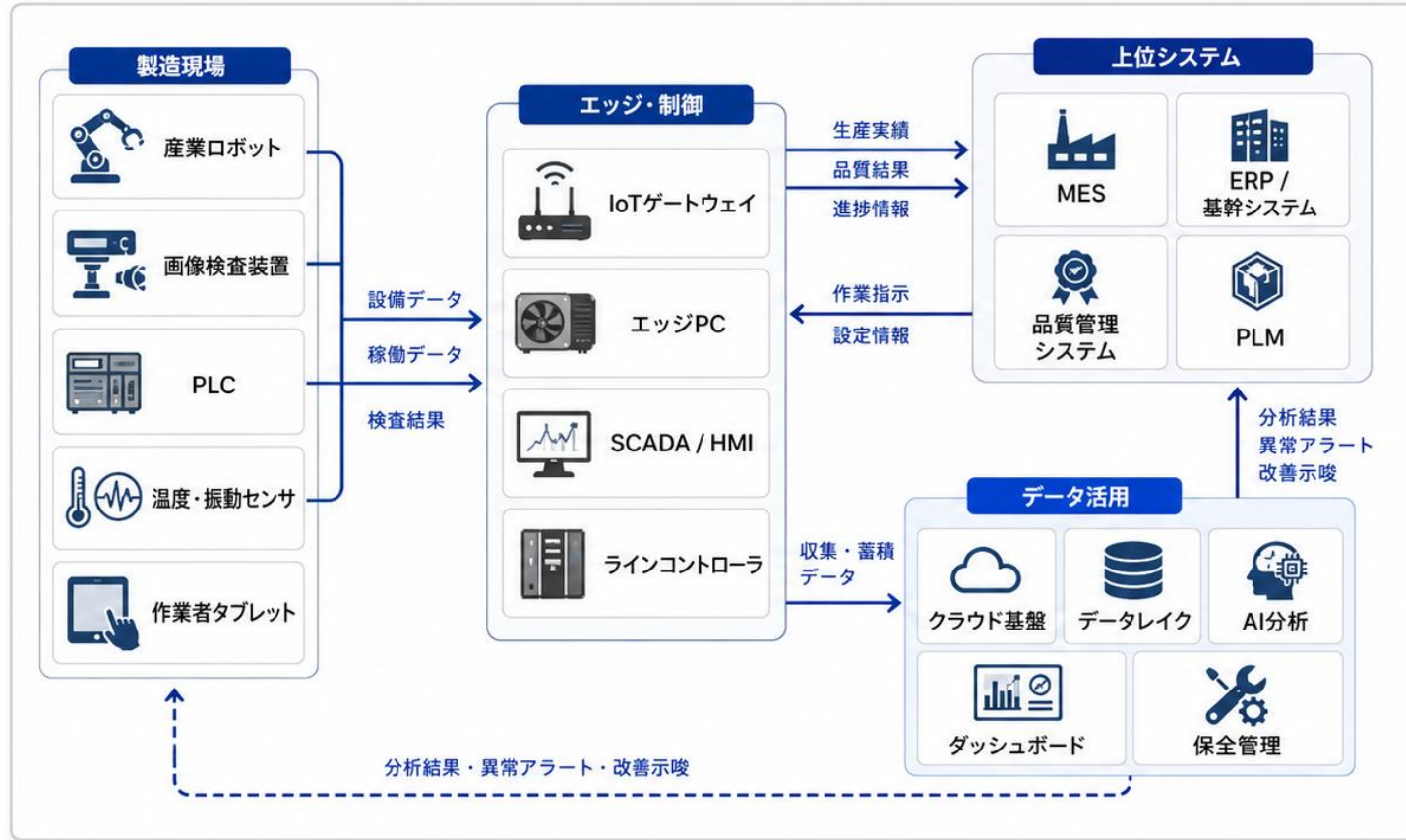


②【多様な図出力】 上流工程で必要となる各種図やモックアップまで生成可能



システム相関図

Ver.1



出力例

- 業務フロー図
- 画面遷移図
- ワイヤフレーム
- モックアップ
- 帳票
- システム相関図
- データ関連図
- スケジュール図
- 体制図
- など

③【AI生成理由提示】 考慮漏れ要求・要件はAIが補完し、色分けして確認可能

AI創作とインプットデータ引用箇所を色分け表示

生成理由まで説明

Ver.

1

第3章 規模

1. サービスの利用者数及び情報システムの利用者数

利用者	サービス利用者	情報システムの利用者	主な利用拠点	サービス提供時間	利用者数	補足
厚生労働省職員	あり	あり	厚生労働省本庁及び地方局	平日9:00-17:00	約500人	政策決定に必要なデータ分析を提供
都道府県統計主管課員	あり	あり	全国の都道府県庁	平日9:00-17:00	約1,000人	統計データ入力・審査を担当
調査事業所担当者	あり	なし	日本全国の事業所	24時間365日	約10,000社	オンライン調査票の提出を担当
データ監査担当者	なし	あり	厚生労働省監査課	平日9:00-17:00	約50人	データ品質保証を担当
システム管理者	なし	あり	外部委託業者の拠点	24時間365日	約20人	システムの運用保守を担当
統計解析部門	あり	あり	厚生労働省本庁	平日9:00-17:00	約100人	分析結果レポート作成を担当
UXデザイン部門	なし	あり	UXデザイン専門会社	平日9:00-17:00	約30人	ユーザーインターフェース改善に関与
セキュリティ部門	なし	あり	厚生労働省本庁	平日9:00-17:00	約25人	情報セキュリティ対策を担当
データ管理部門	なし	あり	厚生労働省本庁	平日9:00-17:00	約70人	データ品質管理を担当

2. 処理件数

項目	処理件数（定常時）	処理件数（ピークの特徴）	補足
電子調査票受信処理	年間100万件	月初や月末に集中し、特に月初の数日間では全体の20%を処理	リアルタイムバリデーションが導入されています
データ入力プロセス	月間5000件	特定の業務終了日付前に集中し、月末直前に増加傾向あり	自動化と精度向上のための機能強化が実施中
受付状況管理	日次更新	特定イベントやキャンペーン時に頻繁に更新される	データの重複や欠損防止のための機能強化中
内容審査	月間2000件	第一四半期において最も高頻度で実施される傾向あり	機械学習によるエラー検出アルゴリズムを導入

第3章 規模

No. ◆	更新日 ◆	更新内容 ◆
1	2025/4/6 17:56	企画調整係担当業務〜から引用(要求整理表_勤労統計調査オンラインシステム.pdf 3ページ)
2	2025/4/6 17:56	企画調整係担当業務〜から引用(要求整理表_勤労統計調査オンラインシステム.pdf 3ページ)
3	2025/4/6 17:56	内容審査〜から引用(要求整理表_勤労統計調査オンラインシステム.pdf 3ページ)
4	2025/4/6 17:56	厚生労働省の業務を統括し運用する立場であるため、全国にある本庁及び地方局を拠点とする推測を参考にして、情報システム利用者の拠点を追加
5	2025/4/6 17:56	通常の政府機関の稼働時間である平日9時から17時をサービス提供時間にすることが妥当である理由から、サービス提供時間を追加
6	2025/4/6 17:56	大規模なシステム改修プロジェクトに関与する職員数としては適正である理由から、利用者数を追加
7	2025/4/6 17:56	システム更新の目的がデータの信頼性と正確性の向上であるため、データ分析を重要視するという推測を参考にして、補足を追加
8	2025/4/6 17:56	データ入力プロセス〜から引用(要求整理表_勤労統計調査オンラインシステム.pdf 3ページ)
9	2025/4/6 17:56	データ入力プロセス〜から引用(要求整理表_勤労統計調査オンラインシステム.pdf 3ページ)
10	2025/4/6 17:56	データ入力プロセス〜から引用(要求整理表_勤労統計調査オンラインシステム.pdf 3ページ)

※事実と創作を切り分けることでハルシネーションリスクも同時に回避

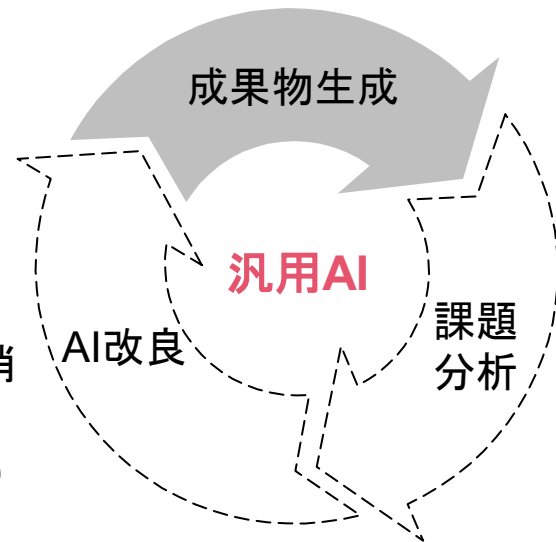
4 【汎用AIとの差異】 SolvifAIは使えば使うほど成果物品質が向上し、現場が高位標準化

汎用AI ドラフト精度30%程度（有識者の補助に留まる*）



SolvifAI 精度70-100%（全ユーザの高位標準化）

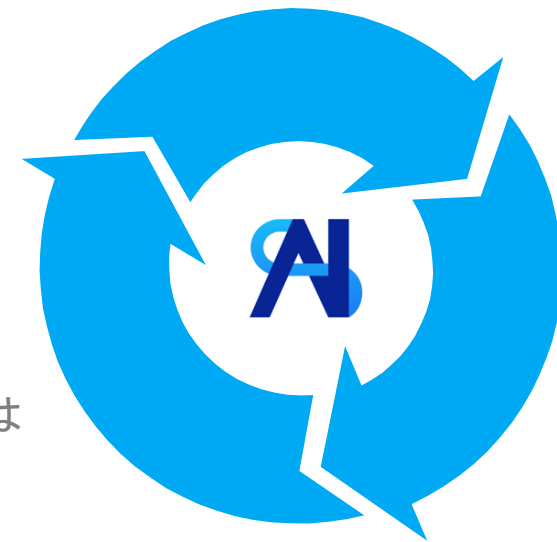
1. **都度プロンプト**とインプット入力し、成果物生成



3. プロンプトで解消
できず**課題放置**
(次の成果物でも
大部分を手修正)

2. 精度に対する
課題切分け不可

1. **インプットだけ**入れて成果物生成(弊社でプロンプト設計)



3. **改良支援**
(次成果物では
再発防止)

2. 貴社より
課題確認し
弊社で分析

- 各ユーザがプロンプト設計し、出力精度課題に対応を要する
- 一方、課題切分け・改良に制限(汎用AIは裏側処理が見えずインプット解析・プロンプト等どこが問題か判断できない)
→ **品質バラつき、見えない管理負荷も生じ、定着阻害**

- 課題発生時、弊社側で分析・改良支援
- 使えば使うほど、貴社業務へAI最適化
→ **独自機能と運用支援で定着し、高い品質で標準化**

2.【導入事例】 京セラ株式会社

The screenshot shows a PR TIMES press release page. At the top, the PR TIMES logo and navigation links are visible. The main headline reads: "京セラ、SolvifAIの上流工程AIエージェント導入で要求・要件定義の高位標準化を目指す" (Kyocera aims for high-level standardization of requirements and specifications through the introduction of SolvifAI's high-end engineering AI agent). The article is dated April 20, 2026, at 10:00 AM. The text states that SolvifAI's high-end engineering AI agent has been introduced to Kyocera's R&D department to improve the quality of requirements and specifications, aiming for higher standards and better customer value. At the bottom, the logos for KYOCERA and SolvifAI are displayed, along with the sub-headline: "上流工程AIエージェントで 要求定義書を自動生成" (Automatically generate requirements definition documents with high-end engineering AI agent).

PRTIMES プレスリリースリンク

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000020.000132882.html>

2.【導入事例】 医療機器メーカー スリープウェル株式会社 代表コメント

【事例】 認証医療機器の睡眠脳波計を提供するスリープウェル、成果物生成AI搭載 IT/DXプロジェクト管理ツールSolvifAIを導入

ソルビファイ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：CEO湯浅元祥/COO染谷凌大）が提供するSolvifAIがスリープウェル株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役：吉田政樹）に導入されました。

ソルビファイ株式会社 2024年10月31日 10時00分



■ 導入について

導入背景と目的

スリープウェル株式会社は、長年にわたり「スリープスコープ」を中心とした医療機器の開発を通じて睡眠科学の発展に貢献してきました。同社は更なる事業推進に向け、業務効率化と組織力強化を目的にITプロジェクトの成果物生成及びプロジェクト管理を自動化するSolvifAIを導入しました。

代表取締役 吉田政樹様コメント

弊社の抱える課題に対して、プロジェクトの進捗、ステータス管理、また、スケジュール感の把握等がスムーズにできていると感じております。

ソルビファイ社の仕事の進め方についても、AI利用にとどまらず、内容の確認や修正等をプロジェクト責任者やシステム熟練者が逐次実施しておられるので、齟齬もほぼない状態です。通常連絡もチャットツールなどを使いながらタイムリーにフィードバックをいただいております、ストレス少なく、課題の解決につながっていると考えています。

こうしたコメントは、得てして綺麗な表現になったり、社交辞令や美辞麗句が並んでることが多くて、コメントに対して「ホンマかいな」と思いがちですが、現在の進捗状況を把握している中では本心からソルビファイ社に依頼してよかったと考えております。

PRTIMES プレスリリースリンク

[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000011.000132882.html](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000011.000132882.html)

2.【効果実証例】 多くの企業様が考慮漏れ抑制・工数削減・品質標準化を実現



銀行様

考慮漏れ抑制・業務負荷軽減

- 簡易に要求整理後、ベンダーへ要件定義を一任する働き方定着
- 働き方を変えるべく、業務部門用に業務要件考慮漏れ対策として**数十ページの手引きを整備**
- しかし、**品質のバラつき**は非解消



自動車グループ会社様

業務要件定義工数90%削減

- 関連会社からシステム開発・改修の**要望が噴出**
- 要望整理・優先順位付け・資料作成など膨大な作業で担当者の**工数が常時逼迫**
- **実装速度**についても度々指摘



制御機器メーカー様

要求定義の品質標準化

- **有識者の高齢化・離職**により組織の要求定義力が低下
- 外部コンサルの協力を得て**教育施策を半年間実施**するも具体成果が得られず苦慮

課題

対策→効果

先方の標準テンプレートと手引きを基にSolvifAIのAIカスタマイズ

→過去の複数案件を用いて検証。業務要件定義書の自動化を実現し、**考慮漏れ要件出力**にも成功

業務要件定義書の標準テンプレートを**共同で作成**し、AIカスタマイズ

→テンプレートをシンプルにし、順に目次作成するAIにより**約90%自動化** (ユーザの作業は一部要件編集のみ)

有識者の要求定義の暗黙知を解きほぐしAIカスタマイズ

→誰でも有識者と同様のプロセスで**根本課題の特定・要求定義**を実現

3.【セキュリティ】 企業様毎にAWSクラウド上でテナントを区切りセキュアにご利用可能

強固なデータ保護



AWS国内リージョンで運用し、安全性と可用性を確保。暗号化・多要素認証にも対応し、不正アクセスを防止

AI学習の無効化設定



AI基盤とモデルには、入力データが学習・再利用されない設定を適用し、機密性を維持

厳格な運用体制



ISO/IEC 27001:2022認証を取得して、セキュリティ教育継続。SolvifAIの厳格な運用に向けガバナンス体制を強化

3.【ご利用の流れ】

サービスご提案

課題をヒアリングし、最適なソリューションをご提案します



① ご契約

課題解決に資するソリューションに対し、契約を締結します



② ご利用準備

貴社資料雛形のAI設定なども含め、導入のご支援をします



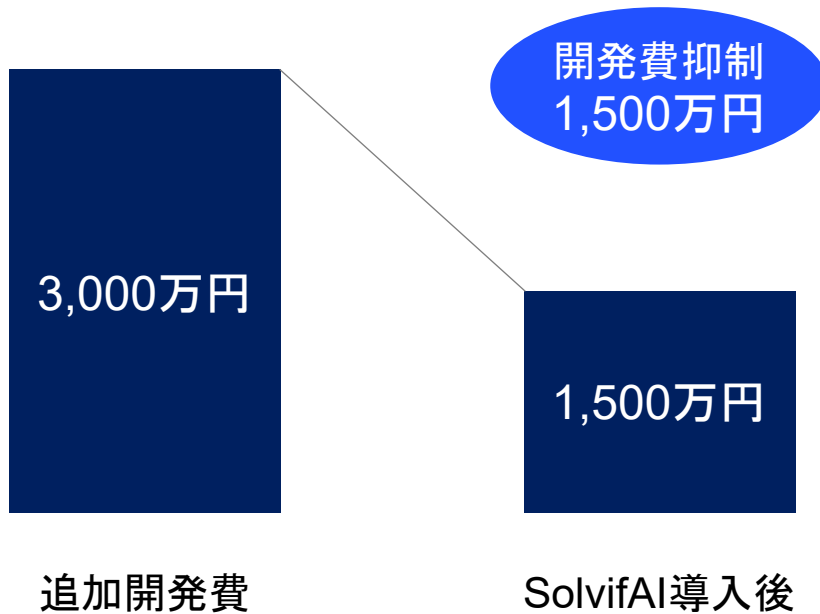
③ 本格利用

課題解決に向けSolvifAIをご利用いただきます

①【費用対効果】 性能を最大限発揮することで、年間数千万円～数億円の財務効果

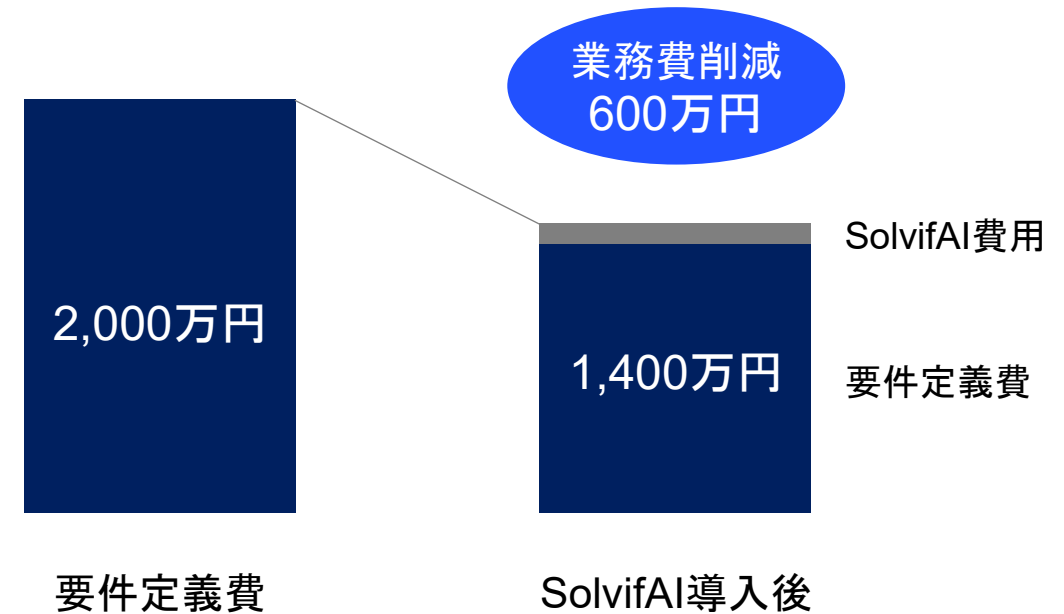
考慮漏れによる追加開発費の抑制

- AI考慮漏れ指摘で、数億円の複数PJにて**遅延率を半減**
- 追加開発費用を**数千万円抑制**



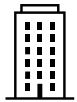
要件定義に関する業務費用の削減

- AI業務自動化で、担当者数・業務時間を**30%程削減**
- 要件定義工程にて**数百万円費用削減**



②【検証イメージ】

弊社 貴社



AI効果最大化に向け伴走させていただきます

準備(約1か月)

- AI資料の**目指す品質**を刷り合せ
- 実現に向け**AIカスタマイズ**

検証(1~2か月)

- SolvifAIで実際に**資料**を自動作成
- 追加要望を踏まえ**更なるAI改良**

本格利用

- **運用マニュアル**整備/オンボーディング
- **定例会**や**CS**を通じてAI定着促進

③【AIモデル更新】 貴社は一切の負荷なく、最適なAIモデルをご利用可能

AIモデル最新版リリース時に、弊社側で性能を検証し...

目的に応じて最適に組み合わせてSolvifAI性能を最大化



5.5など

全インプットデータ解析

- 画像・図形・表・テキストが混在するWord/ Excel/ PPT/ PDF解析
- 解析漏れが考慮漏れに直結するため、網羅的解析用の独自AI



3.1 Pro、3 Deep Thinkなど

高精度な成果物

- インプットからAIが推論し、考慮漏れ防止に向けて要件補完
- 業務フローなど図出力AI+出力量を確保するAIエージェント



Sonnet 4.6、Haiku 4.5など

AIの透明性担保

- AI出力に対し、事実とAIの推論を明確化
- 汎用AIが苦手とする反面、品質標準化に向けSolvifAIで実装

...

4. 会社概要

会社名

ソルビファイ株式会社

所在地

東京都港区南青山3丁目1番36号 青山丸竹ビル6F

代表

代表取締役 CEO 湯浅元祥 Masayoshi Yuasa

代表取締役 COO 染谷凌大 Ryodai Someya

取引銀行

三井住友銀行

三菱UFJ銀行

みずほ銀行

沿革

2023年9月

ソルビファイ株式会社設立

2023年10月

サムライインキュベートより資金調達

2024年7月

特許出願 「成果物生成AI、プロジェクト管理AI」

2024年9月

特許取得 「要求一覧作成AI」

2025年5月

ISMS認証取得

2025年7月

ジャフコ・グループより資金調達



Webサイト

<https://solvifai.jp/>

4. パートナー/掲載メディア

パートナー

JAFCO


SAMURAI
INCUBATE

Microsoft
for Startups
Founders Hub

aws startup
programs

掲載メディア

CNET Japan



Rakuten
Infoseek

 AI 総研



 BRIDGE

MARR Online [マールオンライン]
M&A情報・データサイト



 excite ニュース

 VOIX biz



TECHABLE



いかなるIT/DXアイデアも実現する